

第 1 1 回 東京大学学生発明コンテスト

東京大学では 4 年ぶりに学生発明コンテストを開催いたします。2013 年度から 3 年間にわたって開講されている東京大学特許講座で学んだ知識を試すことができる貴重な機会でもあります。東京大学の学生であればどなたでも参加できますので、皆様ふるって応募してください。

募集主旨： 知的生産活動により得られた新規なアイデアを、特許という権利として明確に主張できることが、これからの知財立国を支える研究者に求められています。研究者としての第一歩を踏み出したばかりの柔軟な思考を持つ学生の皆さんに、発明を権利化するプロセスを経験してもらうため、東京大学学生発明コンテストを 2003 年度より 10 年間開催してきました。その後、発明の定義から特許制度の概要等を学ぶための東京大学特許講座を 3 年間開講し、特許制度について系統立てて学ぶ機会を提供してきました。

本コンテストによって知的財産権の理解を深めていただき、今後の研究活動に役立てていただくことを望んでいます。

応募資格： 東京大学の学生（学部学生・大学院生等）

応募期間： 2016 年 7 月 1 日（金）～2016 年 10 月 31 日（月）（必着）

※下記の提出書類を作成の上、郵送あるいは持参してください。

日 程：2016 年 12 月中旬	書類審査終了 予備審査結果の通知
2017 年 1 月 12 日（木）	本審査 プレゼンテーション
2017 年 2 月上旬～中旬	審査結果の通知
2017 年 2 月下旬	表彰式

募集内容： 発明（「特許法上の発明」に該当するもの） 分野は問いません。
アイデアのみでも試作品段階でも結構です。また、出願済みの発明でも構いません。

提出書類： 応募用紙表紙(様式 A).....2 部
発明説明書(様式 B、A4 判タテ記述自由形式).....2 部
発明確認シート(様式 C).....1 部
応募用紙の様式 A、B の内容を含む電子媒体.....1 部
※応募用紙のサンプルはホームページ(URL: <http://hatsumeiiis.u-tokyo.ac.jp/>)からダウンロード
できます。第 1 回から第 10 回の本コンテストの詳細も見ることができます。

審 査： 東京大学生産技術研究所（産学連携委員会）、東京大学産学協創推進本部、一般財団法人
生産技術研究奨励会（TLO）、弁理士の関係者で行う予定
※審査においては、既に特許性が明確に謳われているかどうかだけでなく、潜在的に特許化
の可能性があるかどうかも含めて審査する予定です。

表 彰： 発明大賞、産学協創推進本部長賞、生産技術研究所長賞、アイデア賞、奨励賞（数件）
※優秀な発明に対しては、特許出願のアドバイス

賞 金： 総額 50 万円
※書類審査を通過した全員に記念品を贈呈

そ の 他： ●応募する際には事前に、「応募にあたってのご注意」をご確認ください。
●一人で複数の発明を応募しても構いませんが、発明ごとに別々に応募してください。

主 催： 東京大学生産技術研究所、東京大学産学協創推進本部、一般財団法人生産技術研究奨励会（TLO）

問い合わせ先： 〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所
事務部経理課連携研究支援室企画チーム

電話: 03-5452-6747 Fax: 03-5452-6746 e-mail: hatsucon@iis.u-tokyo.ac.jp

応募にあたってのご注意

1. 応募書類

応募用紙表紙(様式 A).....	2 部
発明説明書(様式 B、A4 判タテ、記述自由形式).....	2 部
発明確認シート(様式 C).....	1 部
応募用紙の様式 A, B の内容を含む電子媒体(CD-R など).....	1 部

※ 応募用紙は以下のホームページからダウンロードできます。

<http://hatsumei.iis.u-tokyo.ac.jp/>

2. 記入要領

- (1) 応募用紙(様式 A)の太線枠内を記入してください。
→様式 A の内容は公表する場合がありますので、発明の詳細については様式 B に記入してください。
- (2) 発明の内容は、発明の説明書(様式 B)に書いてある注意事項に従い記入してください。
→様式 B は記述自由形式ですが、A4 判タテ用紙に(図表等を用いて)わかりやすく簡潔に説明してください。
- (3) 応募の前には、発明確認シート(様式 C)を用いて発明の経緯をご確認ください。
→共同発明者あるいは関係者から合意を得た後に、様式 C の合意書に署名捺印してください。
- (4) 応募書類は、日本語または英語で作成してください。

3. 応募方法

書類一式を下記まで郵送あるいは持参してください。封筒には必ず「発明コンテスト書類在中」と朱書きしてください。(電子メールでの添付ファイルは受け付けません。)

〒153-8505

東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所

事務部経理課連携研究支援室企画チーム

電話: 03-5452-6747 Fax: 03-5452-6746 e-mail: hatsucon@iis.u-tokyo.ac.jp

4. ご注意

- (1) 応募前に、知的財産制度に関する基本的な知識を習得しておいてください。東京大学特許講座や、本学で行われている知的財産に関する講義を受講していない場合は、以下の URL からダウンロード出来る平成 27 年度知的財産権制度説明会(初心者向け)テキストを通読してから応募してください。
https://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/pdf/h27_syosinsya/1_2_1.pdf
- (2) 発明は東京大学の学生のものに限ります。発明者は二人以上いても構いません。東京大学の教員や学生以外の方が共同発明者である発明を応募されても構いません。但し、発明者ごとの寄与率を明記してください。また、応募する発明に関し、専門的な知識を持つ方が共同発明者になっている場合は、その旨を明記すると同時に、応募者の独自のアイデアはどこにあるのかを明記してください。
- (3) 既に学会等で発表された発明や出願済みの発明についても審査の対象としますが、その旨を記載してください。
- (4) 応募された発明は秘密に取り扱います。但し、発明の名称とその属する技術分野など様式 A の記載事項は公開する場合がありますので、発明の詳細は様式 B に記入してください。
- (5) 応募書類は、一切返却致しません。

応募用紙表紙

太枠内を記入してください

受付番号	受付日
<div style="text-align: right; margin-right: 20px;">(ふりがな)</div> 応募者氏名 <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">(漢 字)</div>	
住所	
E-mail	<input type="checkbox"/> 来年度開催予定の特許講座等に関する情報提供を希望する。 (希望する場合は上記 <input type="checkbox"/> にチェックを入れるか塗りつぶしてください)
電 話	
知的財産制度に関する知識の 習得状況 (1 つ以上にチェックを入れるか <input type="checkbox"/> を塗りつぶしてください。)	<input type="checkbox"/> 東京大学特許講座の受講(受講年度：)) <input type="checkbox"/> 上記以外の知的財産に関する講義の受講(講義名：)) <input type="checkbox"/> 平成 27 年度知的財産権制度説明会(初心者向け)テキストの通読 https://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/pdf/h27_syosinsya/1_2_1.pdf
A1 発明の名称(必須)	
A2 発明者(必須) 氏名 (年齢)・所属(学部研究科・学 科専攻等)・学年 (応募者を筆頭に、共同発明者も含 めすべての発明者を記入してくだ さい。発明者が複数の場合、寄与 率を%で記入してください。また、 発明内容に関する専門知識を持つ 人には氏名の後に*を記入してく ださい。)	
A3 発明の分野 (コンピュータサイエンス、日用品 など、自分なりに考えて記入くだ さい。)	
A4 発明の PR (任意) (発明の特徴や自慢できるところ 等、出願前に公表しても良い点の み簡潔に PR してください)	
A5 発表の有無 (発明を学会、学会誌等で発表して いる場合(予定も含む)、その時期と 学会名等を書いてください。また、 出願済みの場合は発明の名称と出 願番号を記載してください)	

注意事項：

上記 A1~A5 の内容は公表する場合がありますので、発明の詳細については様式 B に記入してください。
 記入内容が欄内に書ききれない場合、類似の書式であれば他の用紙に記入しても構いません。

発明の説明書 (A4 タテ、自由形式)

以下の事項について、自由に記入してください。**B1～B3 は必ず記載してください。B4～B13 は必ずしも全ての項目について記述する必要はありません。**必要があれば、A4 判タテの紙に図版等を描いても構いません。

B1 発明の名称 (必須)

B2 発明者 (必須)

B3 発明の概要 (必須)

B4 発明の PR (発明のアピール点を書いてください)

B5 発明に至った経緯

(発明が生まれたきっかけなどを自由に書いてください。)

B6 発明の特徴

(特許明細書の「特許請求の範囲(クレーム)」に該当し、発明の権利範囲を特定するためのものです。)

B7 従来技術

(この発明と同じような技術や製品がどのようなものであったか、また同じ分野の研究発表にどのようなものがあったかなどを簡単に記入してください。類似特許に関する先行調査も可能な範囲で行ってください(特許庁ホームページ <http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)。判っているものは論文、特許文献等を挙げ、必要があれば添付してください。)

B8 発明が解決しようとする課題

(従来技術が持っている問題点や、従来技術がない場合にはこの発明が解決した問題点等を記入してください。)

B9 課題を解決するための手段

(前記の課題を解決するためにどのような手段(構造・条件・方法・工程・物質)を講じたか、どのような構成にしたか等を記入してください。発明内容に関する専門家が共同発明者に入っている場合や、自分の研究に関する発明については、共同発明者のアイデアと応募者のアイデアが区別できるように明記してください。)

B10 作用

(この発明がどのように機能するか、何に対してどのように作用するか等を記入してください。)

B11 実施例

(この発明を実施した場合の例(複数でも可)を記入してください。この実施例を見た人(その分野での標準的な知識を持った人)が再現できるよう、出来るだけ具体的に記入してください。)

B12 発明の効果

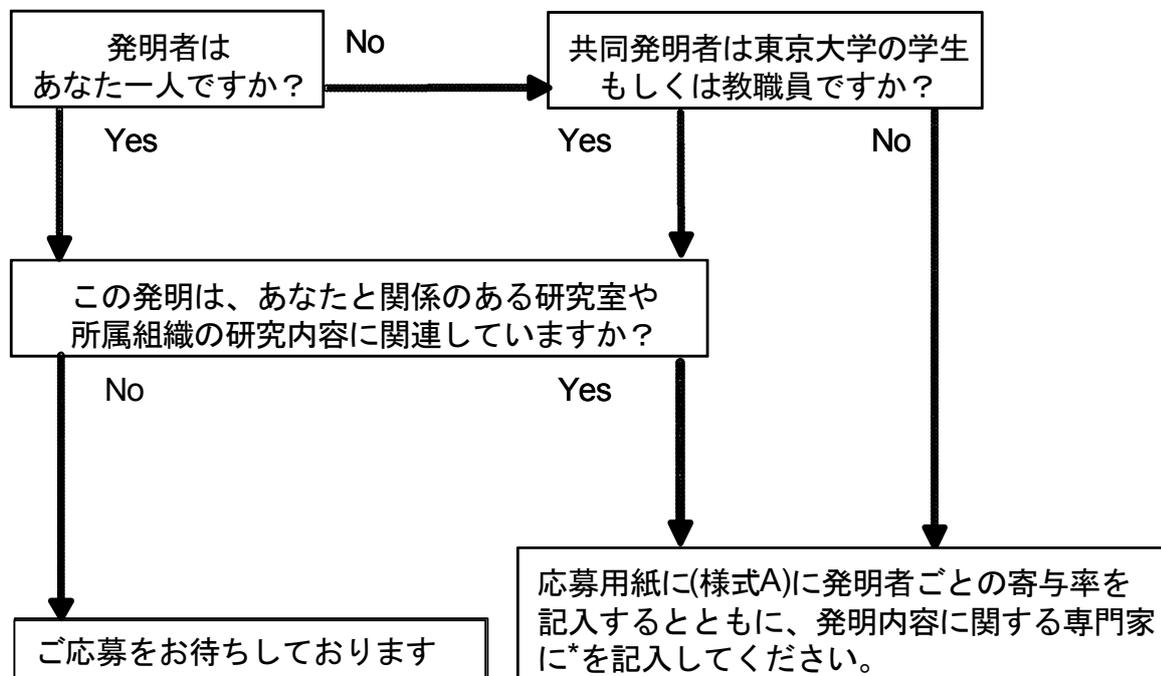
(発明のどの部分がどのような効果を発揮するか、従来技術に対して利点があるかを記入してください。具体的、定量的に書くために効果を示すデータ等があればそれも添付してください。)

B13 図面の簡単な説明

(発明を理解しやすいような図面などを記入してください。図面の種類は問いません。)

発明确認シート

※各質問に対し、YesもしくはNoを○で囲んでください。



東京大学生産技術研究所
産学連携委員会

委員長 鹿園 直毅 教授殿

発明の名称 _____

第11回東京大学学生発明コンテストに応募する上記発明について、次のことを確認します。

- ・ 応募用紙表紙（様式A）A1～A5の記載内容については公表しても構いません。
- ・ （共同発明者・関係者がいる場合）共同発明者および関係者と合意の上応募いたします。

平成 年 月 日

署名

印